



しこく
四国財務局公式キャラクター

ニュースリリース

～四国とともに、未来をつむぐ～

四国財務局

令和6年6月13日

第81回 法人企業景気予測調査結果（四国地方の概要） （令和6年4～6月期調査）

企業の景況判断は「下降」超幅が縮小

【景況判断】

全産業の景況判断BSI（4～6月期）については、引き続き原材料価格やエネルギー価格の高騰による影響がみられるものの、価格転嫁の進展や外国人観光客の増加などから、▲5.1%（前回の▲7.4%から2.3%上昇）となり、「下降」超幅が縮小。

先行き（翌期）については、原材料価格やエネルギー価格の高騰を懸念する声があるものの、需要の回復や価格転嫁の進展などを見通し、「上昇」超に転じる。

製造業：前回▲14.2% ⇒ 今回 ▲8.8%（5.4%上昇、下降超幅が縮小）

「**パルプ・紙**」：価格転嫁の進展などから上昇超に転じる。

「**化学**」：価格転嫁の進展や受注の増加から上昇超となる。

「**はん用機械**」：原材料価格、電気代等の高騰や自動車向けの受注の減少から下降超幅が拡大。

非製造業：前回▲3.8% ⇒ 今回 ▲2.8%（1.0%上昇、下降超幅が縮小）

「**宿泊、飲食サービス**」：外国人観光客や国内観光客の増加から上昇超に転じる。

「**運輸**」：外国人観光客などの利用者の増加から上昇超幅が拡大。

「**建設**」：原材料価格等の高騰や住宅需要の減少などから下降超幅が拡大。

【従業員数判断】

全産業の従業員数判断BSI（4～6月期）については、「建設」、「宿泊、飲食サービス」を中心に人手不足感が高いことから、36.6%（前回の35.8%から0.8%上昇）となり、「不足気味」超となっている。

先行き（翌期）については、求人を出しても人材確保は難しいといった声もあり、引き続き「不足気味」超となる見通し。

【問い合わせ先】

四国財務局 財務広報相談室
四国財務局 経済調査課

TEL087-811-7780(内線260)
TEL087-811-7780(内線250)

